

根津鋼材

八潮事業所のシート加工

年内に村田鋼業へ移管

コイルセンター大手の根津鋼材(本社・東京都荒川区東日暮里1-32-5、社長・根津訓光氏)は、年内をめぐりに八潮事業所(埼玉県八潮市)のシート加工を、グループの村田鋼業に全面移管する計画だ。今夏に、村田鋼業の基幹業務系および生産系システムを「根津システム」に切り替える、両社間で管理手法を統一し、情報データベースを共有化できることが

八潮ではシャーリング機によるシート加工を行っているが、シャーリング機は村田鋼業(千葉県浦安市鉄鋼通り、社長・安部博行氏)の大型レベラーラインで一次加工し、八潮に持ち輸送している。昨年来、シャーリング機によるシート加工を村田鋼業に移管することが検討されてきたが、両社のシステムが別々だったため、実現できずにいた。両社が同じシステムを使うことで、グループ全拠点共通したノウハウと同一情報に基づいた加工が可能になる。例えば根津で受注したシート加工を、データをトランスferして原コイルから二次加工を経て客先納入するまで村田鋼業で一貫できるわけだ。

年内中に、八潮のシャーリング2台を村田鋼業へ移設する。村田の既存シャーは、必要に応じて撤去する。八潮は、大割と小割を含めスリット加工専用(ミニレベラー除く)拠点になる。根津鋼材は、昨春に村田の全株式および商権・人員・設備などを取得して子会社化した。根津グループの生産拠点は八潮のほか須賀川(福島県)、長沼(同)、蓼科(長野県)および村田の浦安となり、直近の販売量はグループ全体で月間約1万5千ト(受託を含む)加工量は月産約2万ト規模。

須賀川、八潮のスリッター設備
順次部分改良
 根津鋼材ではスリッター設備の部分改良を順次、推し進める。中核拠点の須賀川事業所(福島県須賀川市横山町)の中割スリッターと、八潮事業所(埼

玉環八潮市)の大割スリッターおよび小割スリッターの計3基が対象。経年劣化した部分をリフレッシュし、タイミ

ユールする。カッタースタンドの全面リプレースのほか、構造体部分の更新などを、タイミ

から順次手掛けていくための具体的な検討作業に入った。